



切妻屋根の平屋の隣に2階建てゲストハウスをドッキング。「面白い雰囲気と造園してくれたので、木の扉にはクレマチスを通わせようと思っています」



広い土間の玄関。「将来は椅子やテーブルを置いて接客スペースも作りたいですね」

うじさんの実家。理想通り切妻屋根の平屋へと生まれ変わった。そこには長年古民家再生に携わってきた「ハウスランド社」の技術と思いやり、うじさんのこだわりが満載。昔の玄関は三和土があつて、そこで餅つきをしたりしていたといううじさん。そういう経験を思い出すような広い土間のある玄関は接客スペースとしても使える。ニッチには、片付けをしていたら出てきたという囲炉裏の自在鉤や、奥様手作りの古布パッチワークが上品に飾られている。リビングには念願の薪ストーブが、二段高いステージのような場所に鎮座。とても寒かった記憶があるから、どうしても欲しかった。ダイニングの蓄熱暖房と共にとても暖かく重宝しています。火の番も楽しいです(笑)。小さな頃の思い出がよみがえる家でありながら快適性は最高!の「古いものが似合う家」になって、とてもありがたいです」と笑顔が溢れる。



メールボックスも家と同じテイストで揃えて。室外機だって変換しない木で覆い室外機とは思えない設置



house story
家づくりの
お宅訪問
knock 00

子どもの頃の思い出残す古民家 ゲストハウスとドッキング!

「ハウスランド社」がつくった
佐賀県唐津市在住 / うじさんの住まい

子どもの頃住んでいた家を
平屋に建て替え、倉庫だった隣に
2階建てのゲストハウスを造りました。
思い出の詰まった古道具などをきちんと
保管・再生してくれたのも嬉しかったです。

理想が詰まった平屋建て
「古い」が「新しい」住まい

夫婦揃って温泉に行くのが趣味だといううじさん。ある日、温泉へ行く途中で「ハウスランド社」を見つけた。「古民家再生」というのが、すごく気になりました。実家に戻る予定だったのと、切妻屋根の和の家に住みたいと思っていたこともあり、見学に行きました。古民家再生モデル住宅「吉木」の玄関を見た時「ここだ!」と思いました。昔は2階建てでとても寒かったとい



薪ストーブのあるリビング。以前とは全く違う和モダンの空間に、TV台はオリジナルで作ってもらった造作家長



蓄熱暖房を備えたダイニングキッチン。ネコの裏乃ちゃんも直射熱のじんわりとした暖かみが大好きなのだとか